

第二級陸上特殊無線技士 養成課程講習会

総務省認定・国家試験免除

2026年

7月4日(土)

7月5日(日) 2日間

会場

常陸大宮高等学校

特別棟3F 視聴覚室

募集定員：60名

申込は先着順です

受講時間

7月4日：9:30～16:25

7月5日：9:30～16:25

授業・修了試験

法規 5時間 | 無線工学 4時間

修了試験 90分

受講料金(消費税、免許申請手数料含む)

生徒 18,550円

一般 19,650円

陸上特殊無線技士とは？

陸上の無線局の無線設備の技術的な操作を行うための国家資格のひとつで、資格により操作範囲が異なりますが、主な活躍シーンは次のとおりです。

- コミュニティ放送局
- 業務用ドローン
- 鉄道無線
- VSATシステム
- 防災行政無線
- タクシー無線
- 気象レーダー
- 警察無線
- ローカル5G
- 消防無線
- 各種業務無線

近年目覚ましい活躍をみせる業務用ドローンの操縦や画像転送などの操作において陸上特殊無線技士の資格が必要となっており、その需要は増えています。また、自動車の自動運転を支える無線通信技術の開発・運用、スマートシティ構想など、IoTや5Gといった今後成長が見込まれる先端分野での活躍が期待できます。

陸上に開設する業務無線局に従事するためには、
国家資格である「陸上特殊無線技士」の免許が必要です！

二次募集受付開始！ 申込期限6月29日(月)9:00

国家資格である「第二級陸上特殊無線技士」の免許が、学校で取得できます！

★本講習会は、ご家族の方も受講できます★

詳しい申込方法は裏面をお読みください

「無線従事者養成課程（むせんじゅうじしゃようせいかてい）」とは、総務省の認定による無線従事者の資格を取得するための養成制度の一つです。

通常、無線従事者資格は総務省の国家試験を受験して取得しますが、養成課程では以下のような流れで取得可能です：

✓ 特徴：

- 総務省が認可した講習機関が開催
- 所定のカリキュラムを受講・修了すれば、**国家試験免除**！
- 講習最終日に修了試験が行われ、合格すれば資格取得！ **合格率は99%以上**です！

無線従事者免許証が届くまでの流れ

1. 申し込み

- ➡ 右のQRコード、またはURLを読み込み、オンラインで申し込んでください。

※保護者の承諾を得てから申し込むこと



2. 受講料金のお支払い

- ➡ 申込後の自動送信メール記載の金融機関に振り込んでください。

※最終お支払い期日：7月3日(金)

3. 教材等の受け取り

- ➡ ご自宅へ直接お送りします。

<https://questant.jp/q/qcq-hitachiomiya-r807>

4. 講習会までの準備

- ➡ 受講案内をよくお読みの上、受講票や免許申請書に貼る顔写真、住民票コード（または住民票原本）などを用意してください。

5. 講習会を受講

- ➡ 電波法令により、予め定められた講義を全て受講しなければなりません。当日の受付は授業開始の15分前くらいに始まりますので、時間に余裕をもって教室に来てください。遅刻は厳禁です！
また、受講票や写真、住民票など忘れ物がないようにしましょう。

6. 修了試験

- ➡ 講習会2日目、全ての講義が終わるといよいよ修了試験です。しっかりと講義を聴いていれば大丈夫、安心して臨んでください！
試験問題は法規・無線工学、科目ごとに10問ずつ出題され、それぞれで60点（6問正解）以上取れると合格です。

7. 合格発表

- ➡ 講習会の翌週以降に、「皆川先生」まで確認をお願いします。

8. 免許証発給

- ➡ 講習会終了後1週間～10日ほどでQCQ企画から所管の総合通信局へ、修了試験合格者の無線従事者免許証の発給申請を行います。
その後1ヶ月～1ヶ月半後に、学校へ一括送付され、皆さまへ配布します。

注1. 万が一、修了試験に不合格となっても安心してください。

QCQ企画が実施している、一般講習会やeラーニングを無料で再受講できます。

注2. 免許証の発給申請は合格者全員分を一括して行います。

提出書類に不備があると全体の遅れにつながります。